

寝屋川流域水環境改善計画（令和 4 年版）案

（計画の概要）

計画策定の経緯

H13	「水循環系の再生」のモデル流域に寝屋川流域が選定
H15	「寝屋川流域水循環系再生構想」を策定
H16	「淀川水系寝屋川流域水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」を寝屋川流域協議会において策定
H24	「寝屋川流域水環境改善計画」（平成24年度～令和3年度）を策定
R3	次期計画として、令和4年～令和13年を計画期間とする「寝屋川流域水環境改善計画（令和4年版）」の策定にむけ検討
R4	「寝屋川流域水環境改善計画（令和4年版）」の策定

これまでの取組み

【主な施策】

○水質の改善

- ・下水道の整備や接続の促進
- ・事業所排水対策の徹底
- ・底質汚泥の浄化浚渫

○水量の確保

- ・淀川からの浄化導水
- ・下水処理水の活用

○河道内のごみの削減

- ・恩智川クリーン・リバー・プロジェクトによる清掃活動

○水辺空間の整備

- ・川勝水辺ひろば（寝屋川）
- ・成法せせらぎ小径（八尾市） など



恩智川クリーン・リバー・プロジェクト

水環境の現状の課題と対応方針

◆水質の保全・水量の確保

課題

- ・水質は、計画目標の未達成地点があるものの、全般的に改善傾向にある。
- ・水量は、計画策定当時から横ばいの地点はあるものの住民は現状に不満を感じていない。

対応方針

- 水質については、これまでの取組を継続し、**改善した水質を保全**する。
- 水量については、魚の生息や景観の保全のため、**現況水量の確保**に努める。

◆河川の景観・生活環境の改善

課題

- ・ごみや不快なおいについて改善を求める声が多い。
- ・平野川などで発生しているスカムについては、浚渫等の対策を実施しているが、未だ周辺の住民の生活環境に悪影響を与えている。

対応方針

- 世界的な海洋プラスチック問題を受け、令和元年度のG20大阪サミットにて「**大阪ブルー・オーシャン・ビジョン**」が共有され、府及び流域内の全市において「プラスチックごみゼロ宣言」が行われている。
- 河川の景観や河川に係る生活環境を改善するため、**河道内のごみやスカムの削減に努める**。

◆水辺空間の利活用の促進

課題

- ・寝屋川流域ではこれまで、川勝水辺ひろば（寝屋川市）や成法せせらぎの小径（八尾市）等の親水空間や水辺の遊歩道などの整備を行ってきたが、地域住民等による周知活用が十分にできていない状況である。

対応方針

- 水辺空間の認知度の向上や利用者数の増加を図るため、**水辺空間に関してイベントやSNSを活用した周知を行っていく**。

寝屋川流域の将来的な目標像

◆寝屋川流域全体の目標像

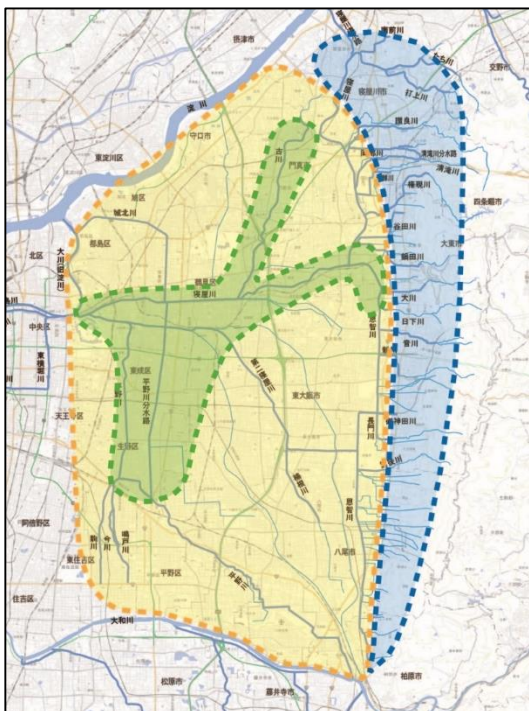
- ・ 快適な水環境
- ・ 生物が生息、生育しやすい川
- ・ 親しみやすい河川空間



人とつながりを育み、誰もが愛着を持てる川

◆水域別の目標像

- （上流域①）「水に入って生き物と触れ合える川」
- （中流域②）「暮らしの中に憩いやくつろぎを与える川」
- （下流域③）「街なかのオープンスペースとしてゆとりが感じられる川」



- ①上流域：寝屋川上流域、生駒山麓支川群の中上流域の河川・水路等
- ②中流域：寝屋川中流域、恩智川上流域、第二寝屋川上流域、平野川上流域の河川・水路等
- ③下流域：寝屋川下流域、恩智川下流域、第二寝屋川下流域、平野川下流域、平野川分水路流域、古川流域の河川・水路等

寝屋川流域図

取組の目標

項目	取組の目標
河川の景観・生活環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ■河川の景観・生活環境の改善 ・ 河道内のごみやスカムを削減し、河川の景観や河川に係る生活環境を改善することにより、流域住民の河川への関心や愛着の向上を目指す。
水辺空間の利活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ■水辺空間の利活用の促進 ・ 寝屋川流域内の水辺空間の情報を整理し、流域住民に広く周知することで水辺空間の認知度の向上と利用者数の増加を目指す。
水質の保全 ・ 水量の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■水質の保全 ・ 魚が生息でき、人が親しむことができる水質の保全を目標として、目標水質の達成率100%を目指す。 ■水量の確保 ・ 魚が生息でき、「人が親しみやすい河川空間」として川のうるおいが感じられるような水量の確保を目指す。

寝屋川流域における取組内容

【河川の景観・生活環境の改善】

○恩智川などで実施している流域住民による清掃活動を流域全体に広げ、ごみの発生源対策などを実施

- ・ ごみの発生源対策の推進
- ・ 水面清掃の実施
- ・ 啓発と教育



クリーンリバー寝屋川作戦



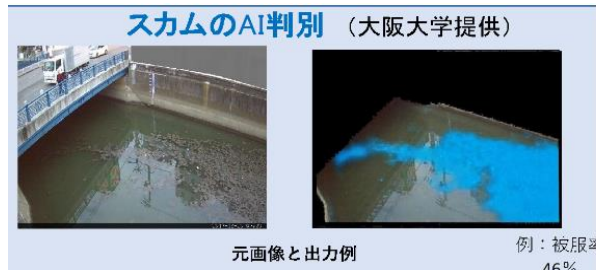
水面清掃

○AIを活用した新たなスカム監視方法を検討、スカムの発生状況の共有ほかスカム対策を実施

- ・ 新たな底質改善対策の試行実施
- ・ スカムアラートの運用
- ・ 平野市町抽水所におけるフラッシング運転の実施
- ・ 河川の底泥の浚渫



薬剤による底質改善
対策の試行実施



スカムのAI判別（大阪大学提供）
元画像と出力例
例：被服率 46%
AIを活用したスカムアラート

【水辺空間の利活用の促進】

○流域全体で水辺空間のネットワークを構築
水辺空間の情報発信

- ・ 水辺空間のネットワーク化
- ・ 水辺空間サインボードの設置
- ・ イベント等による水辺空間の魅力の情報発信



寝屋川せせらぎ公園



築留二番樋（文化財）

【水質の保全・水量の確保】

○水質の保全・水量の確保施策を継続実施

□水質の保全に係る施策

- ・ 下水道の整備や接続の促進
- ・ 下水処理場における適正処理
- ・ 合流式下水道の改善
- ・ 事業所排水対策の徹底
- ・ 生活排水対策(啓発・教育)の推進
- ・ 底泥の浚渫
- ・ 流域住民等と連携した水路等の水質改善の推進



廿田川(にじゅうでんがわ)
底泥の浚渫(大東市)

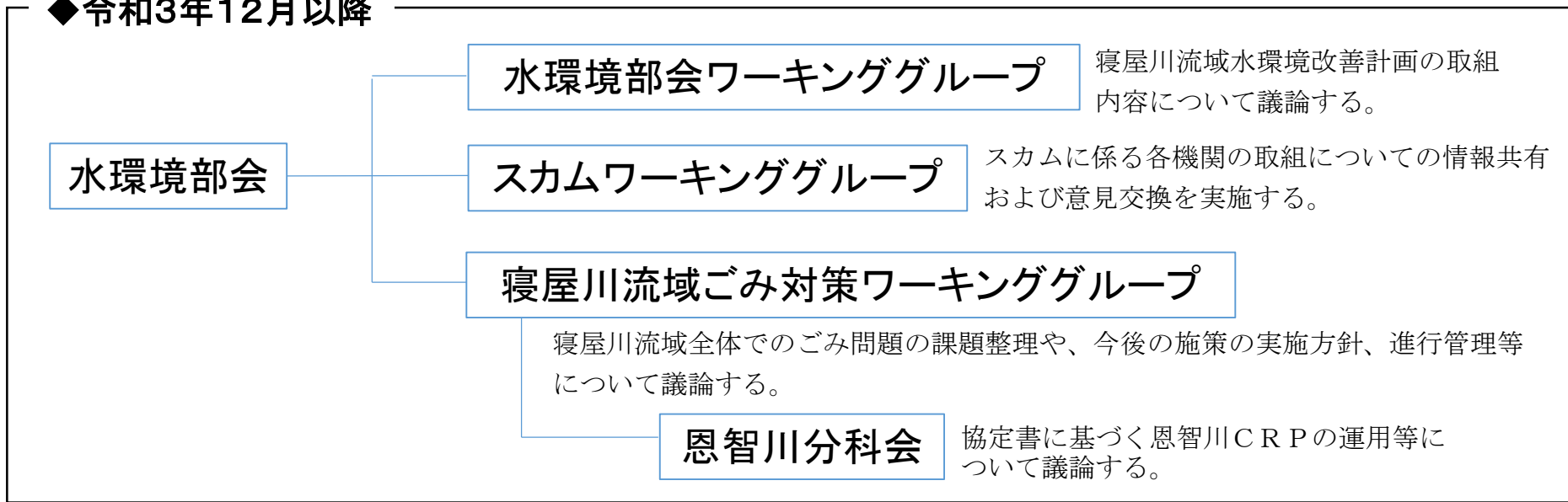
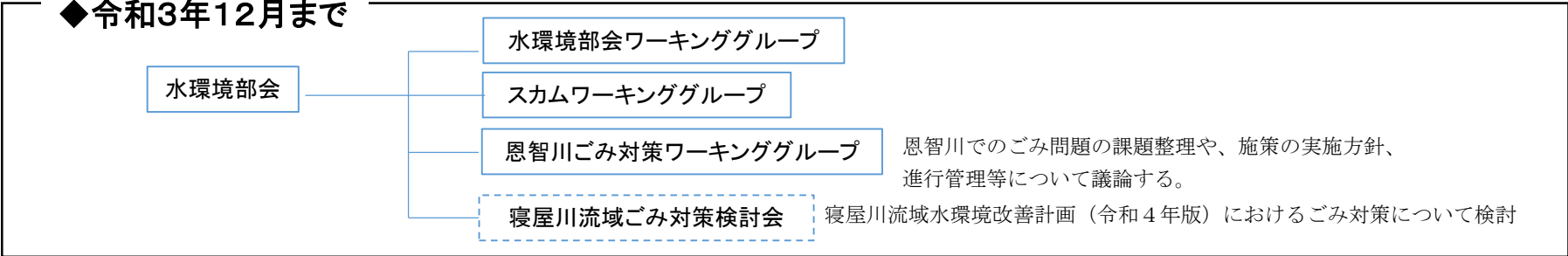
□水量の確保に係る施策

- ・ 他河川からの浄化導水、地下水の導水
- ・ 下水処理水の活用

(水環境部会における取組みについて)

水環境部会の体制について

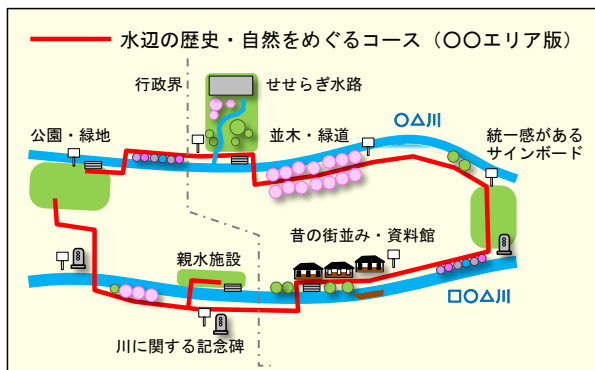
- ・ 寝屋川流域水環境改善計画にある各種取組の推進や、流域市との情報交換を行うため各ワーキンググループ(WG)を設置
- ・ 令和3年度は流域全体としてごみ対策を推進し、さらなる環境改善及び魅力向上に資することを目的とし、下記の通りWGの再編をおこなった。



(今年度の主な取り組み)

◆水環境部会WG

- 水辺空間マップの作成、公表



水辺空間を巡るモデルコースのイメージ

◆スカムWG

- 各自治体の取組状況について情報提供
 - 平野川・平野川分水路における浮遊汚泥(スカム)対策会議の検討状況を共有
 - 薬剤による底質改善対策試行実施結果の共有(大阪府)



スカムの発生(平野川)



底質改善対策の試行実施(薬剤散布)

◆寝屋川流域ごみ対策WG

- 各種イベントで動画による啓発
- 地域住民と連携した啓発看板の設置
- 清掃イベントの実施



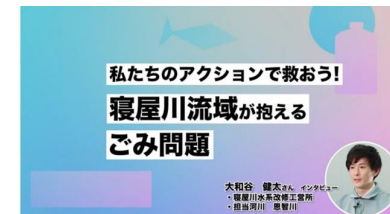
啓発看板

(恩智川分科会)

- 美化活動の実施
- ワークショップの実施



<美化活動>



啓発動画



<参加者への情報発信>

(参考)

水環境部会WG

- ◆ 水環境部会WGの開催(8月、10月、11月、3月)
 - ・ 寝屋川流域水環境改善計画(令和4年版)の策定に係る検討調整
- 令和4年度の取組み
 - 水辺空間マップの作成、公表

恩智川ごみ対策WG

- ◆ 恩智川浮遊ごみ対策WGの開催(5月、7月、9月、2月)
 - ・ 各地域での美化活動等の取組み状況について情報交換
 - ・ 今後の取組の方向性について意見交換
 - ・ 浮遊ごみ啓発装置の運用について見直し
 - 啓発用の動画を作成し、各種イベントで活用
- ◆ 美化活動(恩智川CRP)等の実施
 - ・ 3地区で美化活動を実施し、約130人が参加(4地区はコロナのため中止)
 - ・ 美化活動の案内や実施結果について、ホームページ、ツイッター等で情報発信
 - ・ 活動参加者に対して、協議会の取組を周知



<美化活動>



<参加者への情報発信>



<活動の様子を動画配信>

(参考)

寝屋川流域ごみ対策WG

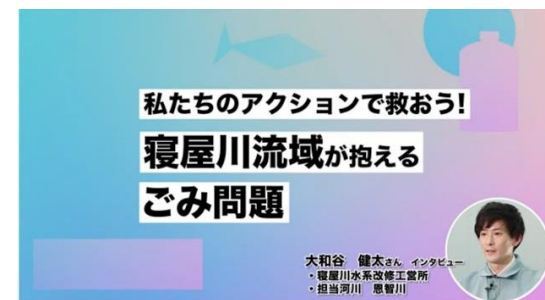
- ◆ 寝屋川流域ごみ対策検討会(5月、7月、9月、11月)
 - ・ 寝屋川流域水環境改善計画(令和4年版)におけるごみ対策について検討
- ◆ 寝屋川流域ごみ対策WGの開催(2月)
 - ・ 令和4年度の取組について意見交換
 - ・ ごみのポイ捨て対策について意見交換
 - 啓発用の看板を作成
 - ・ ポイ捨て防止の啓発について意見交換
 - 啓発用の動画を作成
 - ・ 恩智川分科会を設置



啓発看板

○ 令和4年度の取組み

- 府市におけるごみ対策の進行管理の実施
- 各種イベントで啓発動画による啓発
- 地域住民と連携した啓発看板の設置
- 清掃イベントの実施(秋ごろ)



啓発動画

(恩智川分科会)

- 恩智川流域における住民の美化意識向上に向け、流域全体でのワークショップを実施。
- 恩智川クリーン・リバー・プロジェクトの推進
- 恩智川流域での美化意識の向上を目指した啓発イベントの実施

(参考)

スカムWG（各機関の取組について情報共有、意見交換）

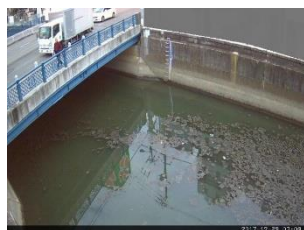
- ◆ 平野川における薬剤によるスカム発生抑制のための底質改善対策の試行実施(大阪府)
 - 底質改善対策の試行実施(5月～)
- ◆ AIを活用したスカム発生場所特定のためのカメラ画像の解析(大阪府)
- ◆ スカム発生の早期発見のためのスカムアラートの運用(大阪府)
 - スカムが発生した際に迅速に対応するため、剣橋に設置したカメラをAIにより監視するシステム(スカムアラート)を運用(27回検知)



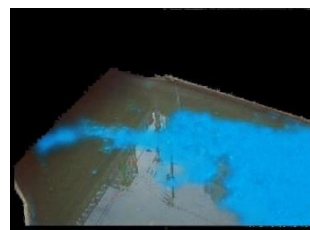
底質改善対策の
試行実施(薬剤散布)



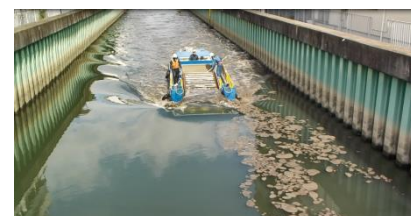
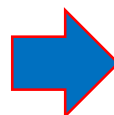
スカムの発生(平野川)



元画像



AIによる判別



船による沈降

- ◆ 平野市町抽水所におけるフラッシング運転の実施(大阪市)
 - 河川に流入する汚濁負荷物を削減するため平野市町抽水所において沈砂池フラッシング(水置換)運転を実施

○ 令和4年度の取組み

- 平野川・平野川分水路における浮遊汚泥(スカム)対策会議の検討状況を共有
- 薬剤による底質改善対策試行実施結果の共有(大阪府)

(参考)

その他の取り組み

関係機関による水環境改善施策の実施（大阪府、各市）

- 下水道の整備や接続の促進
- 事業所排水対策の徹底
- 下水道や生活排水対策に関する出前講座等の実施 など



<出前講座>



<事業場への立ち入り調査>